

## 鈴鹿回生病院附属クリニック 公衆無線Wi-Fi利用規約

### 第1条（趣旨）

本規約は、診察待ち時間中の外来患者および患者家族等（以下、「利用者」という。）の利便性の向上を図ることを目的に、鈴鹿回生病院（以下、「当院」という。）が整備した公衆無線Wi-Fi（以下、「本サービス」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

### 第2条（規約の適用）

本サービスの利用者は、本サービスの利用を以て、本規約のすべての内容に同意したものとみなす。

### 第3条（利用場所及び利用時間）

本サービスは、鈴鹿回生病院附属クリニックの待合場所において、8時から20時までの間のみ利用可能とする。（休診日は除く）

### 第4条（利用料）

本サービスの利用料は無料とする。ただし、利用者がインターネット上で利用した有料サービスについては、その理由にかかわらず、利用者がその費用を負担する。

### 第5条（本サービスの利用）

1. 利用者は、本サービスを利用してインターネットに接続することができる。
2. 本サービスを利用するために必要な通信機器（スマートフォン、タブレット、PC等）は利用者が準備する。
3. 本サービスを利用するために必要な通信機器の設定及び操作は、利用者が行うものとする。
4. 利用者が利用する通信機器及びその付属機器等に供給する電源は利用者が準備する。
5. 当院は、通信機器の設定等、技術的な質問について問い合わせを一切受け付けない。
6. 本サービスへ接続する通信機器のセキュリティ対策は、利用者が行うものとする。
7. 当院は、本サービスの適切利用を図るため、利用者のアクセスログを記録し、特定のWebサイトへのアクセスを制限することができる。
8. 本サービスの利用者は、他者の迷惑とならないよう配慮して利用するものとする。

## 第6条（禁止事項）

1. 著作権その他の権利を侵害する行為又はそのおそれがある行為
2. 財産やプライバシーを侵害する行為又はそのおそれのある行為
3. 前2号に掲げるもののほか、第三者又は当院に不利益や損害を与える行為又はそのおそれのある行為
4. 公序良俗に反する行為若しくはそのおそれのある行為又は公序良俗に反する情報を第三者に提供する行為
5. 大量データの送受信（大量データのダウンロード、OSのアップデート等）により、通信負荷をかける行為
6. 選挙運動又はこれに類する行為
7. 性風俗、宗教又はこれに類する行為
8. コンピュータウイルス等の有害なプログラムを提供する行為
9. 特定又は不特定多数に大量にメールを送信する行為
10. 前各号に掲げるもののほか、法令に違反、又は違反するおそれのある行為
11. 当院が不適切と判断する行為

## 第7条（利用資格の停止・取消し）

1. 利用者が本規約に違反した場合
2. 禁止事項に該当する行為を行った場合
3. その他利用者として、当院が不適切と判断した場合

## 第8条（免責事項）

1. 当院は、本サービスの提供、遅延、変更、中止又は廃止、本サービスに関連して発生した利用者の損害については、当院はその責任を一切負わないものとする。
2. 当院は、利用者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等につき、いかなる保証も行わないものとする。
3. 利用者が本サービスへ接続しようとする、通信機器の機種、OS、ソフト等により、利用できない場合についても、当院はその責任を一切負わないものとする。
4. 当院は、本サービスが中断なく稼働することをなんら保証しないものとする。
5. 当院は、本サービスにおける通信速度を保証しないものとする。
6. 利用者が本サービスを利用したことにより、他の利用者や第三者との間に生じた紛争等について、当院は一切責任を負わないものとする。
7. 本サービスの内容の変更又は、運用の中止により、利用者又は第三者が被った被害について、当院は一切責任を負わないものとする。

#### 第9条（サービスの変更・中止）

1. 当院は、医療行為等への影響がある場合、利用者に予告なく本サービスの内容を変更することができる。
2. 当院は、以下の事項に該当する場合、本サービスの運用を中止する。
  - （1）本サービスのシステム保守又は点検工事を行う場合
  - （2）災害、停電、その他の非常事態により、本サービスの通常運用が行えなくなった場合
  - （3）本サービスに係る、機器の故障、ネットワークの障害等、やむを得ない理由がある場合
  - （4）その他一時的なサービスの中断を当院が必要と判断した場合

#### 第10条（賠償責任）

禁止事項に該当する利用者の行為によって当院及び第三者に損害が生じた場合、利用者としての資格が喪失した後であっても、利用者は、損害賠償等の法的責任を負うものとする。

#### 第11条（利用者規約の変更）

当院は、必要あると認めるときは、予告なくこの規約を変更できるものとする。この規約の変更後に利用者が本サービスを利用したときは、利用者は変更後の規約に同意したものとみなす。

#### 附 則

この規約は、令和6年4月1日から施行する。